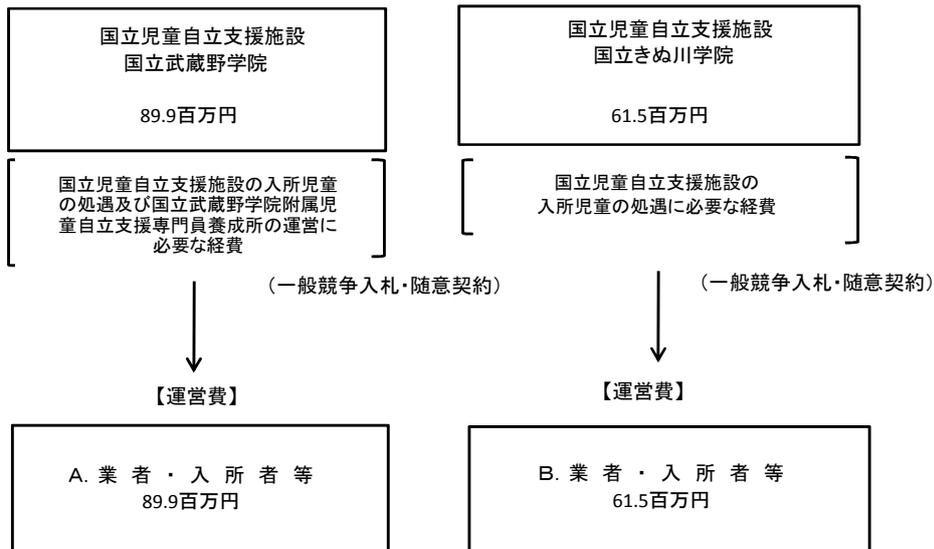


平成25年行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	国立児童自立支援施設の運営に必要な経費		担当部局庁	雇用均等・児童家庭局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	大正8年度		担当課室	家庭福祉課		小野 太一		
会計区分	一般会計		政策・施策名	VI-4-1 児童虐待防止や配偶者による暴力被害者等への支援体制の充実を図ること				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	厚生労働省組織令第135条		関係する計画、通知等	-				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	特に専門的な指導を要する児童の自立を支援するための国立児童自立支援施設(国立武蔵野学院、国立きぬ川学院)及び児童自立支援専門員を養成するための国立武蔵野学院附属児童自立支援専門員養成所を運営する経費である。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	児童福祉法等に基づき、不良行為をなし、又はなすおそれのある児童及び家庭環境その他の環境上の理由により生活指導等を要する児童を入所させ、又は保護者の下から通わせて、個々の児童の状況に応じて必要な指導を行い、将来社会の健全な一員となり得るよう自立を支援する国立児童自立支援施設及び全国の児童自立支援施設等で入所児童の支援に当たる職員を養成する児童自立支援専門員養成所を運営する。							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
		補正予算						
		繰越し等						
		計	171	167	170	156	157	
	執行額	153	141	151				
	執行率(%)	89.5%	84.4%	90.6%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果目標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)
	国立児童自立支援施設の運営に要する経費であるため、定量的な目標を示す事は不可能である。		成果実績		-	-	-	-
			達成度	%	-	-	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	両学院における入所児童数(年平均)		活動実績 (当初見込み)	人	101 (140)	51 (140)	58 (140)	- (140)
単位当たりコスト	2,611,140 (円/人)		算出根拠	H24執行額151,446,102円/平均入所人員58人				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	国立児童自立支援施設の運営に必要な経費	156	157					
	計	156	157					

事業所管部局による点検						
項目			評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	①全国の児童相談所から入所措置の決定を受けた、特に専門的な指導を要する児童の自立を支援するための経費、②全国の児童自立支援施設等で働く職員(児童自立支援専門員)を養成するための経費、③全国の児童自立支援施設や児童相談所職員等に対する研修を行うための経費等であり、児童福祉の推進に当たって国費で行うべき事業である。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	厚生労働省組織令に基づき設置されている国立児童自立支援施設の施設運営に係る費用であり、国が実施すべきものである。		
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○	①全国の児童相談所から入所措置の決定を受けた、特に専門的な指導を要する児童の自立を支援するための経費、②全国の児童自立支援施設等で働く職員(児童自立支援専門員)を養成するための経費、③全国の児童自立支援施設や児童相談所職員等に対する研修を行うための経費等であり、優先度の高い事業である。		
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	随意契約を行っているが、予算決算及び会計令第99条の規定により少額の随意契約が認められているため問題ない。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-	-		
	単位当たりコストの水準は妥当か。		-	-		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-	-		
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	施設の運営に必要な経費に限定しており、支出の都度、支出内容等の確認を行っている。		
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-	-		
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-	-		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		-	-		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○	日々の入所児童の支援等のために、十分に活用されている。		
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-	-		
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名		-	
	-	-	-		-	
	-	-	-		-	
点検結果	国立児童自立支援施設において、予算決算及び会計令の規程に基づき支出先の選定等を実施し、会計担当部署において、納品時に物品確認をするとともに、会計処理状況について官房会計課による会計監査を実施している。 各点検項目による評価も妥当と考えられ、入所児童数についても平成22年度101人、平成23年度51人、平成24年度58人と実績があることから、国立児童自立支援施設における入所児童に係る児童自立支援施設の運営に必要なため、平成25年度以降も必要な経費の計上が必要である。					
外部有識者の所見						
点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
現状通り	本事業の必要性などの評価は概ね妥当であることから、引き続き効率的な執行に努めること。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
現状通り	-					
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	0635	平成23年	0575	平成24年	0512

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位：百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.東京電力(株)			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
電気供給費	寮舎等に係る電気供給費	10.3			
計		10	計		0
B.(有) 松崎屋本店			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
院生食糧費	入所院生に係る食糧費	5.7			
計		6	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	東京電力(株)	電気供給費	10.3	随意契約 (一般競争入札不調による)	
2	さいたま市水道部	水道代	7.6	随意契約	
3	(株)東上ガス	調理用品購入代等	3.5	1	94.80%
				2	57% (単価契約)
				随意契約	
4	(株)ヤマダ電機	家電用品購入代等	2.7	随意契約	
5	(株)海幸水産	院生食糧費	2.6	随意契約	
6	日本食研(株)	院生食糧費	2.5	随意契約	
7	(株)能登屋	院生食糧費	2.4	随意契約	
8	(株)イトーヨーカ堂	院生食糧費	1.9	随意契約	
9	美保産業(株)	事務用品購入代等	1.8	随意契約	
10	(株)ライスセンター金子	院生食糧費	1.7	随意契約	

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(有) 松崎屋本店	院生食糧費	5.7	随意契約	
2	東京電力(株)	電気供給費	5.4	随意契約	
3	トヨタカローラ埼玉(株)	公用車更新費	3.9	2者	85.80%
4	ショップス フクダヤ	院生食糧費	3.4	随意契約	
5	東邦薬品(株)	医薬品購入費	2.7	随意契約	
6	(有) 滝口スポーツ	スポーツ用具購入費	2.4	随意契約	
7	(株)プライズ小川	灯油代	2.1	随意契約	
8	(株)セイユー	院生食糧費	2.1	随意契約	
9	(株)カンセキ	日用品購入費	2.1	随意契約	
10	さくら市上下水道事務所	水道代	1.8	随意契約	